

家族のきずな・愛のたより

～伊藤半次の絵手紙～

～戦地からの愛のメッセージ～

一兵士が家族に遺した多くの絵手紙は、
令和の今、その家族にとどまらない...



おばあちゃん

おばあちゃん

お元気ですか

内地はすっかり

暑くなりましたでせう

例の大掃除大変忙しかった事でせう

何かとお骨折りの事と存じます

バーちゃんの元気な

お姿を浮かべて

便りを書きました

公喜や允博が

大変悪戯者だそうで

毎日お疲れの事と存じます

お体を大切に サヨナラ

2022. 4/26 Tue - 6/26 Sun

開館 9:00-17:00 (入館は 16:30 まで) 二階講堂 入場無料

下関市立豊北歴史民俗資料館(太翔館)企画展

主催：下関市立豊北歴史民俗資料館



家族に

手紙を送ったことが

ありますか

出征前の伊藤半次



数々の絵手紙

伊藤半次

大正2年(1913)1月2日生まれ。福岡県福岡市にて古田家の4男7女の長男として誕生。昭和10年、伊藤提灯店の長女禮子と結婚。提灯職人としての腕を磨くため、日本画の松尾光華に師事する。戦地からの書簡にも、その特技を生かした様々な絵が描かれています。

昭和15年に旧日本陸軍に入隊し、その後満州に出征。最後は沖縄に転戦して32歳の若さで戦死しました。沖縄から送られてきた手紙は僅か3通。それも既製の絵葉書に切手を貼ったもので、それまでの明るい絵などもなく、家族に無事を知らせる内容でした。

昭和19年11月に沖縄から次男允博宛に届いた手紙が最後となり、半次の消息は途絶えます。のちの記録によれば、半次は昭和20年6月18日時刻不詳、沖縄本島小渡において戦死したとのこと。2か月後に終戦を控えた沖縄戦終結の僅か5日前でした。

遺された書簡は、5年間で約400通にのぼります。戦地に赴き遠い距離を埋めるために描いた絵手紙を通じ、改めてあなたの家族のきずなど、人と人とのきずなを深めて頂きたいと本企画展を開催します。



御便り有難う



お母ちゃん、この慰問袋に入ったら...



夜は大嫌いな蚊の野郎が攻めてくる



JRでのご利用

- 山陰本線「滝部駅」下車、徒歩15分

お車でのご利用

- 九州方面からのアクセス、小月ICから約45分
- 広島方面からのアクセス、美祿ICから約47分

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休館あるいは日程を変更する場合があります。電話又はホームページ等で確認して下さい。

《お問い合わせ》
下関市立豊北歴史民俗資料館
TEL/FAX 083-782-1651

〒759-5511 山口県下関市豊北町大字滝部 3153-1
開館 9:00-17:00 (入館は 16:30 まで)
入館料無料 月曜日休館 (月曜祝日の場合翌日休館)



太翔館HP